



## 「保育所待機児童ゼロ作戦」を展開！

### 定員を 1000 人拡大します。

～ 保育所待機児童解消の取組みについて前川区長が記者会見 ～

と き 5月19日(木) 午後4時00分～午後5時00分

と ころ 練馬区役所(練馬区豊玉北6-12-1)

19日、前川耀男(まえかわあきお)練馬区長が記者会見を行い、新たな取組みとして「保育所待機児童ゼロ作戦」を発表した。当初の予定どおり平成29年4月の待機児童解消を強力に推進する。

#### 【区のこれまでの取組み】

「区は大幅な定員枠の拡大を着実に実施し、平成25～27年都内最大の2,657人の整備をしてきた。さらに平成27年度には、練馬独自の幼保一元化施設『練馬こども園』を創設し、926人の定員を確保した。これにより、5年間で4600人分の定員枠を拡大した。定員枠は5年前の1.4倍にも上る。」

#### 【平成28年4月1日の待機児童の状況】

「平成28年4月1日の待機児童数は166人となり、昨年から10人減少した。166人のうち、0～2歳児で164人を占めており、特に1歳児が122人と突出している。3～5歳児は、近年の施設整備と練馬こども園の創設により解消した。ゼロ作戦では、0～2歳児を重点的に取組む。」

#### 【待機児童ゼロに向けた新たな取組み】

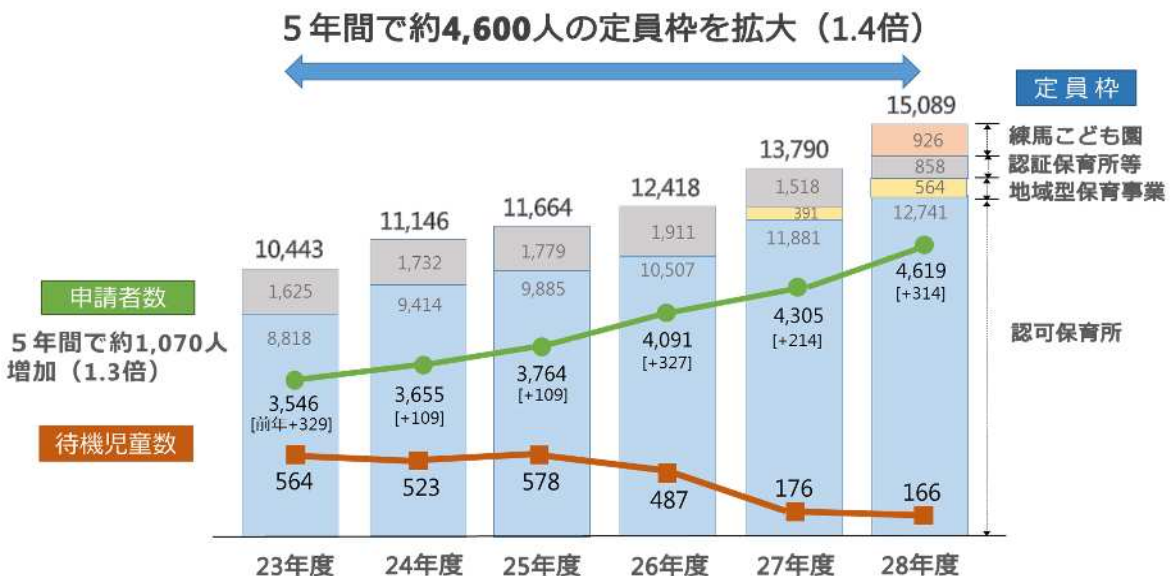
「平成29年4月に向け1000人の定員を拡大する。施設の新規整備(700人)のほか、既存施設の定員枠の拡大(200人)、1歳児1年保育の導入(100人)の定員拡大を行う。この3つを合わせ、待機児童の多い0～2歳児に集中し、0～2歳児で800人、うち1歳児に500人の定員を確保する。」

#### 【待機児童対策のあり方】

「待機児童対策は、本来、育児休業や児童手当も含めた総合的な取組みが欠かせない。国に対し、抜本的な対策を強く求めていくが、目前の待機児童解消に向け、区は全力で取り組む。」

練馬こども園を一層推進するとともに、在宅子育て、保育ママ、小規模保育、認証保育所、幼稚園、認可保育所それぞれを充実し、サービスを選択できる子育て環境を整えていく。」

#### 【待機児童数と定員枠の推移】





## 【保育定員増加数の23区上位比較】

- ▶ 近年、練馬区は23区最大規模の定員枠拡大を継続して着実に実施
- ▶ この定員枠拡大の規模は全国でも屈指のレベル
- ▶ 取組みの結果、練馬区は23区中で人口規模は2番目だが、27年度の待機児童数は少ない順で14位（対児童人口比では4位）まで減少

平成27年		平成26年		平成25年		平成25～27年合計	
区名	定員増加数	区名	定員増加数	区名	定員増加数	区名	定員増加数
1 世田谷区	1,438 (12)	1 江東区	912 (7)	1 世田谷区	498 (11)	1 練馬区	2,657 (10)
2 練馬区	1,319 (18)	2 練馬区	861 (8)	2 練馬区	477 (13)	2 江東区	2,326 (15)
3 江東区	1,278 (19)	3 港区	837 (9)	3 品川区	473 (14)	3 世田谷区	2,067 (19)
4 杉並区	720 (38)	4 中央区	621 (13)	4 荒川区	406 (18)	4 港区	1,825 (23)
5 墨田区	674 (42)	5 杉並区	549 (15)	5 港区	383 (23)	5 杉並区	1,387 (30)
6 大田区	637 (49)	6 新宿区	477 (18)	6 渋谷区	382 (24)	6 中央区	1,285 (35)

※厚生労働省公表の平成25～27年分の「保育所関連状況取りまとめ」の報道発表資料から作成  
 ※定員増加数欄のカッコ内の数字は全国での定員枠拡大数の順位

## 【問合せ】

内 容	所管課（問い合わせ先）
保育所待機児童ゼロ作戦について	保育計画調整課 5 9 8 4 - 4 6 8 6
練馬こども園について	こども施策企画課 5 9 8 4 - 1 3 3 2